

事務事業名		中学校運営事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				担当係	総務係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 安全で快適な学校施設の整備				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	13503	一般	10	3	1	中学校運営事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	学校教育法				
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		義務的事業		
						実施方法		直営		
						事業分類		教育・指導事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
安全な学校運営の維持管理、児童の学習環境及び教職員の就業環境の充実に努める。学校運営上必要な事務用品や消耗品の購入施設管理のための光熱水費や電話料等の支払い 資料作成用の印刷機、教育用コンピュータ等の借上げ・維持料等					<ul style="list-style-type: none"> 各学校に予算を配当(4月) 運動会の賞品の発注(4月) 学校事務職員(臨時)の面接(10月) 卒業記念品・卒業証書印刷の発注(12月) 学校用務員・図書事務職員の面接(3月) その他毎月の例月支払い等 						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					中学校数	校	10	10	10	9	9
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
①佐野市立の各中学校 ②中学校に通う生徒数 ③中学校に勤務する教職員数					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					中学校数	校	10	10	10	9	9
					生徒数	人	3,027	2,992	2,942	2,947	2,897
					教職員数	人	245	241	237		
目的											
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) 生徒の学習環境及び教職員の就業環境の充実にを図る。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					学習環境が整備されている学校の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
快適な学習環境へと整備を図る。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					A版タイプの機の整備率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	123	123						
	一般財源	千円	117,630	118,371						
	事業費計(A)	千円	117,753	118,494	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報酬	13,360	報酬	13,564				
			共済費	3,593	共済費	3,965				
			賃金	16,610	賃金	16,593				
			需用費	58,235	需用費	54,809				
			役務費	4,370	役務費	4,423				
使用料賃借料			17,283	使用料賃借料	21,441					
備品購入費			2,816	備品購入費	2,193					
その他	1,486	その他	1,506							
人件費	人	3	3							
のべ業務時間	時間	200	200							
人件費計(B)	千円	778	788	0	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	118,531	119,282	0	0	0				

事務事業名	中学校運営事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	総務係
-------	---------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和22年学制改革による
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	義務教育費国庫負担金の額が減額されている。 少子化により子供の人数が減っている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市民・保護者から学習活動を支援する環境の整備が求められている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	学校の運営が滞りなくおこなわれれば生徒が学習意欲をもって授業にとりくむことができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	学校の設置者である市は、設置した学校を管理し、経費を負担しなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は公立学校の施設として必要な設備の設置や事務機器の整備を図ることであり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	予算の配当の方法、消耗品等の購入方法等改善することにより、成果向上する余地は少しはあると思われる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	この事業は学校運営上必要な物品購入や設備の維持整備の予算のため、学校規模の適正化が実施されないかぎり、事業費の削減は不可能である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	佐野市にある中学校がすべて県立あるいは私立となれば、本事業は廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①消耗品の単価契約の品目を多くする。 ②予算の配当方法を検討することにより、効率的な執行を行う。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	単価契約物品を増やしても、学校で必要な物品の種類が多く、なかなか統一された品目とならない。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	